

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	まちづくり局公園緑地課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	公園緑地課長 米田 光明 (課長補佐兼整備係長 増田 貴志)	内線	4475 (4486)
------	-------------	---------------------	-----------------------------------	----	----------------

事業種目	都市公園事業	事業採択年度	S48	現 計 画	再評価時点
事業名	東播磨都市計画公園事業 播磨中央公園	着工年度	S48	総事業費	230 億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	84 億円
事業区間	第 1 期事業 (A=184.8ha)			完成予定年度	H17
所在地	加東郡滝野町			進捗率 (内用補進捗率)	99% (99%)
事業の目的			事業内容		
播磨内陸 40 万都市の中核としての広域公園、県民の自然との対話の場、特徴ある総合レクリエーションの場の創出を目的としている。			スポーツゾーン、サイクルoad、ファミリーゾーン、グリーンアドベンチャー、フラワーゾーン(以上南地区)、上滝野地区整備(園路整備) A=184.8ha		
進捗状況	平成 10 年度までに約 185ha のうち南地区 164.5ha を開園し、現在上滝野地区約 20ha の整備をすすめている。用地については、99% 確保しており、本事業は平成 17 年度に完了する。これにより第 1 期計画区域が完成することとなる。 事業が最終段階に来たので、総事業費見直しを行った結果、40 億円の精算増となった。				
評価視点	評価結果の説明				
(1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続対象となる上滝野地区の整備は、緑に囲まれた中での休養・休息の場、健康運動の場、レクリエーションの場、散策活動の場を提供できるとともに、世代をまたぐ地域住民の交流が図られる。フラワーゾーン(桜の園)から、上滝野地区展望台に至る山裾は桜による景観の連続性が保たれ、来園者はもとより、地域住民へも季節感・心の安らぎ等の心理的安定効果が提供できる。</li> <li>以上の効果を実現するため、また、昭和 48 年度より着手している事業で早期全面開園の要望に応えるため、事業継続が必要である。</li> </ul>				
(2) 有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和 53 年度当初開園約 30ha、年間約 10 万人の来園からはじまり、現在約 165ha、年間約 40 万人の人々に親しまれているが、当初開園から 25 年を経て、時代のニーズの変化、周辺に施設整備がすすむ中、利用者の多様なニーズへの対応を求められている。 そこで、平成 15 年度には、「管理運営協議会」設置に着手し、公園の管理運営に利用者の意見を取り入れる仕組みをつくり、残りの整備に反映させ、事業効果の早期発現をめざす。</li> </ul>				
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>上滝野地区においては、園路、便所、展望台等地区全体を自然の改変を可能な限り少なくするとともに、自然樹林地を活かした整備をおこなう。</li> </ul>				
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>北播磨地域の広域防災拠点、広域輸送拠点として既に芝生広場を整備しているが、常時のみならず緊急時においても、約 180ha のオープンスペースの一体的利活用を図るため、周遊園路を設置し、広域防災拠点として機能増強を図る。</li> </ul>				
再々評価の結果	「継続」	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。		